

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

(パブリック向けウォシュレット一体形便器 TCF951・952・953・954 用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

- * 便器洗浄リモコンを併設する場合は、特1～特6で切り替えてください。
理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため。**

正 規 品	(特 1) タ イ プ 1	(特 2) タ イ プ 2	正 規 品	(特 1) タ イ プ 1	(特 2) タ イ プ 2
(特 3) タ イ プ 3	(特 4) タ イ プ 4	(特 5) タ イ プ 5	(特 3) タ イ プ 3	(特 4) タ イ プ 4	(特 5) タ イ プ 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

<<本体側の設定方法>>

手順 リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1 本体操作部の を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**5秒間**点灯します。

《下図は例です》

■ 運転 ■ 便座	■ 運転 ■ 便座	■ 運転 ■ 便座
■ 温水 ■ 節電	■ 温水 ■ 節電	□ 温水 □ 節電

緑色点灯 → 運転・節電 → 橙色点灯 → 便座・温水

この間**5秒**

ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください。

2 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)しているうちに、
 すぐに を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

3 を押したまま、 を押す。
 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

* 便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。
 理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため

設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
節電	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●

●…緑点灯 ×…消灯

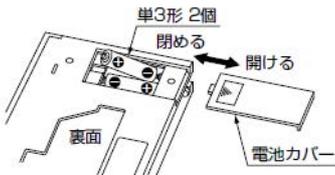
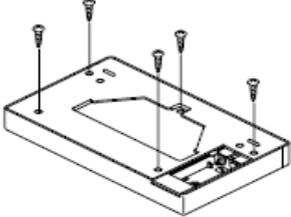
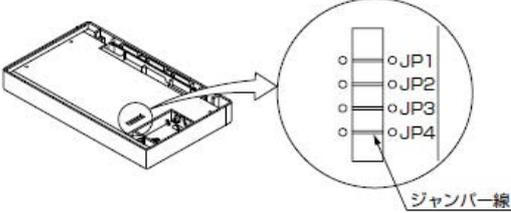
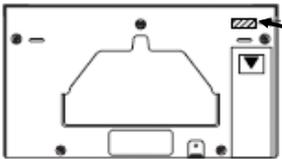
4 ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

から手を離れた時点で設定したコードになる。

5 ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

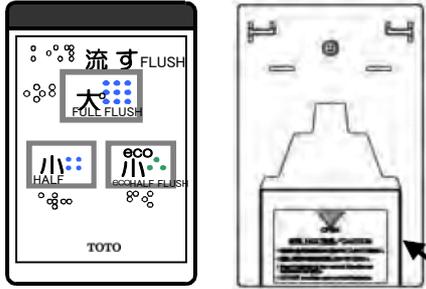
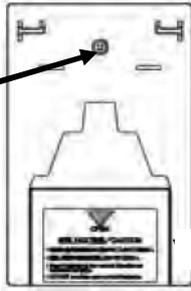
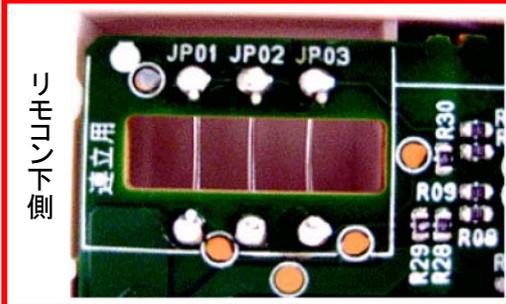
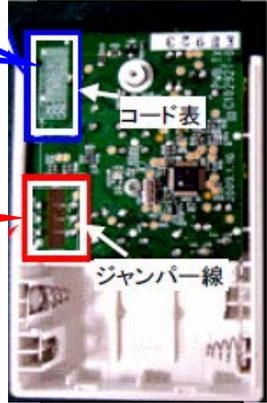
<<リモコン側(ウォシュレットリモコンの場合)の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、リモコン本体のランプが消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																							
2	 <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではなく、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <p>ご注意!! ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>* 便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。 理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため</p> <p>◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1" data-bbox="209 1160 1002 1361"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7*</th> <th>特8*</th> <th>特9*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	 <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

<<リモコン側(便器洗浄用リモコン)の設定方法>>

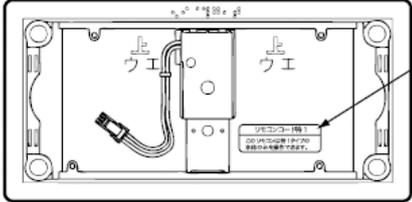
手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																												
1	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>	 <p>「表側」 「裏側」</p>																																											
2	<p>リモコン裏面の固定ねじ1本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>	 <p>固定ねじ</p>																																											
3	<p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断することにより特1～特6へ切り替える。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">標:標準品</td> <td>1:タイプ1</td> <td>2:タイプ2</td> <td>3:タイプ3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>コード</td> <td>標</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>標</td> </tr> <tr> <td>JP01</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>JP02</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>JP03</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> </tr> </table> <p>○:つながったまま 切:切断</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>リモコン下側</p> </div>	標:標準品		1:タイプ1	2:タイプ2	3:タイプ3			コード	標	1	2	3	4	5	6	標	JP01	○	切	○	切	○	切	○	切	JP02	○	○	切	切	○	○	切	切	JP03	○	○	○	○	切	切	切	切	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。 ◎リモコン基板の方向は、左画像とは異なりますのでご注意ください。 </div> <div style="text-align: center;"> <p>リモコン上側</p>  <p>リモコン下側</p> </div>
標:標準品		1:タイプ1	2:タイプ2	3:タイプ3																																									
コード	標	1	2	3	4	5	6	標																																					
JP01	○	切	○	切	○	切	○	切																																					
JP02	○	○	切	切	○	○	切	切																																					
JP03	○	○	○	○	切	切	切	切																																					
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																												
5	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>	<p>例</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">リモコンコード特1</p> <p style="text-align: center;">このリモコンは特1タイプの 本体のみを操作できます。</p> </div>																																											

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

<<リモコン側(埋込リモコンの場合)の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																																		
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>【補足】 タッチスイッチの連立設定は不要です。</p> </div> </div>																																																																			
1	<p>リモコンの 止 STOP と おしり SPRAY を10秒以上押し続ける</p> <p>⇒10秒後にリモコンの水勢ランプが2秒間点灯します。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>約10秒後に特殊(設定)モードになり、水勢ランプが下記のようにになります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px;"> <p>スイッチを押し続けると、約10秒後に水勢ランプが全点灯</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: pink;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px;"> <p>スイッチから手を離すと、水勢ランプが全点滅します。</p> </div> </div> </div>																																																																		
2	<p>リモコンの水勢ランプが点滅(2秒間)しているうちに、 すぐに ビデ BIDET を5秒以上押す。</p> <p>5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>全点滅</p> </div>																																																																		
3	<p>リモコンの水勢 + を押す度に 標準→特1→特2…特9→標準 と設定が切り替わります。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">水勢 WATER PRESSURE</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>設定コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステップ5</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ4</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>ステップ3</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ2</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ1</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">◎…点灯 ×…消灯</p> </div>	設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×	ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎
設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																									
ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																																									
ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎																																																									
ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×																																																									
ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×																																																									
ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎																																																									

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)	
4	<p>設定の切替が完了したら</p> <p>止 STOP</p> <p>リモコンの  を押す</p> <p>⇒設定完了です!!</p>	
5	<p>切替え後、リモコンをはずして、特殊コードラベルを フレームに貼り付けてください。 (リモコンは吸盤ではずしてください。)</p>	 <p>コードラベル</p>

※ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。